

知事と区市町村長との意見交換（墨田区）

令和1年10月2日（水）

14時00分～14時20分

○行政部長 それでは早速でございますが、意見交換を始めさせていただきます。冒頭、知事から一言お願いいたします。

○知事 こんにちは。山本区長には都庁までお越しいただきまして、誠にありがとうございます。また、平素よりの都政運営に御理解、御協力賜っておりますこと、改めて御礼申し上げます。

今、ラグビー熱、そして来年は2020大会、ボクシングということで、非常に日本がずっと右肩上がりでのこのわくわく感と期待感とそして経済と。これらが維持、発展できるように、64年の第1回の東京大会が成長という、これ一本やりだったかと思えますけれども、今度は持続可能な成長とそれから成熟、成長と成熟、この2つで進めていくというのも、1つの旗印にしていきたいと思えます。

今日は長期戦略を描くうえでのビジョンということで、伺わせていただきたいと思えますので、どうぞよろしくお願いいたします。

○行政部長 それでは山本区長、お願いいたします。

○墨田区長 ありがとうございます。大変貴重な時間をいただきまして、誠にありがとうございます。今日はこのメンバーでお伺いをさせていただきました。どうぞよろしくお願いいたします。

私の方からは短時間で何点か知事さんの方にお話をさせていただいて、そしていろんな御意見もまた賜ればというふうに思っております。

1つは私たち墨田区、その産業振興施策、そして都との連携というテーマが1つございます。お陰様でいろんな補助等御支援もいただき、うちの墨田区の製造業が集積するという特徴、それからものづくりのまちと言われるような、こうした産業支援。厳しい中でも元気な中小企業しっかり育っています。

その中で補助、御支援をいただき、今1つずつ成果が。例えば新しいものづくりの拠点創出というような成果も生まれているということで、これからまた新たな形で産業支援をしていきたいというところの中で、1つはそのものづくり企業の集積を基盤として集まりつつある、今、新分野の皆さんが墨田区に集まっている。それからクリエイティブな視点での人材育成。STEAM教育事業。それからものづくりベンチャー企業。こうしたものを支援していきたい。新時代に対応する持続可能な中小企業の振興を推進したいというところがございます。

それから知事もおっしゃっている部分とリンクすると思うんですが、そのファッション産業分野、これも墨田区のニット産業と非常に歴史もありまして、ここも新たな形で産業展開していくというところの中で、区外から呼び込むベンチャー企業、それからクリエイティブ人材等々、既存の区内事業者等との幅広いものづくりコラボレーションの創出。そ

うした新たな技術や製品を墨田区から発信してつくっていく。製品化していく。そんなことも考えているところです。

そういう中では東京都の2020年に向けた実行プラン。ファースト戦略の新しい価値を創造する力を育む教育の推進というようなところで、実は墨田区にも近年、世界規模の課題解決を目指すベンチャー企業、例えば浜野製作所さん、それから宇宙関係でアストロスケールさんという、宇宙ごみを拾う会社が今墨田区に本社を築いておりまして、大変注目されています。

こうした皆さんにも私どもメンバーで、どんなふうにまちをつくっていく、どんなふうに産業を整えていくというような状況にありますので、ぜひ東京都との連携を図りながら、東東京の産業活性化のハブというか、中心として新たな産業展開を私どもから発信していきたいというのが1つでございます。

それからもう1つ、今度は東部鉄道、鐘ヶ淵駅周辺の立体交差化の早期着手というところでございまして、実は補助120号線の拡幅事業、これは都主導でしっかりと鋭意進めていただいております。地元の期待も高まっていると。

それでこの道路とこの交差する形で踏切がございまして、実はいまだ進展のない状況にあるということです。あの踏切の解消というのは、もう周辺のまちづくり、それから実は災害時、木造密集家屋が多い中でこの踏切というか線路が遮断しておりまして、非常にこの防災面においても課題であるということから、ぜひ立体化早期着手というものを我々も考えて。

実は重点的に対策実施を検討すべき重点踏切にも抽出をされていまして、鉄道立体化の検討対象区間にも挙げられているということでございます。ぜひ前へ向けて少し進展をさせていきたいというのが、私共からのお願いの1つになります。

次に大規模水害時における広域避難体制整備。これは荒川氾濫や高潮による浸水想定。区内のほとんどの地域で浸水をして、その深さは最大5メートル以上という状況が予想されているという中で、これ実は江東区、足立区、葛飾区、江戸川区、いわゆる江東5区広域避難推進協議会を設立して、昨年8月に大規模水害ハザードマップ、それから大規模水害広域避難計画というものを発表させていただきました。

5区はしっかり連携をしながら対策を講じているところですが、やはり広域避難というテーマについては、大変大規模なオペレーションになるということになりますので、ぜひこの辺は東京都や国が中心となって広域避難の促進等、対策を講じていく必要があるということでございます。

もう1点。地下鉄8号線の延伸ということで、これも区民の交通利便性向上、大会社の増加。要するに国際観光都市墨田というところの中で、私共スカイツリーも含めて、多くのお客様をお迎えしている、今現在もしているところですが、臨海副都心のアクセス、利便性の向上というところで、相互にインバウンド効果があるというふうに考えておりますので、ぜひこの地下鉄8号線、住吉、豊洲間。この早期延伸の実現を要望させていただきます。

今後、葛飾、松戸なんていう話もありますけれども、これ推進協議会ということで我々は組んでおりますけれども、ぜひこの点についても御配慮いただけたらということです。

最後に子育て支援関連事業における東京都からの財源措置の継続ということで、東京都保育従事職員宿舍借り上げ支援事業や、保育所等利用多子世帯負担軽減事業及び認可外保育施設利用支援事業、それぞれの事業について都から補助をいただいて、周期設定というのがなされているわけですが、やはりこの状況によってはぜひその財源措置の継続といったもの、区単独でできる、できない、いろいろ出てくると思いますので、その辺またその時期において御配慮をいただけたらなということをお願いを申し上げて、私からの今大体主に5点ということで、お願いさせていただきました。以上です。

○知事 それでは5点の具体的な御要望、そしてまた将来への道筋等も伺わせていただきました。墨田区には金属加工業、それから繊維工業、ニット等、多様な産業が集積していることはよく存じております。浜野さんも中小企業の振興という観点から、条例をつくる際も、またいろんなスタートアップ等についても非常に御助言を伺っておりまして、何よりも浜野さん自身が目利きになって、新しい人達をすごく励ましておられると。そこからぜひ上場したり、中にはユニコーンぐらいになってもらえればというような、そこは何もしなければ何も始まらないし、そういうことで進めておられること、大変心強く思っております。

ベンチャー企業の進出も、そうやって人、その成功例はまた人を集めますし、企業も集まってくるということなんだろうと思います。地域経済の活性化や地場の中小企業の振興推進していくためにも、これからも連携、協力していくというのは重要でありますし、また、墨田区さんで行っておられる独自の取り組みも含めて、墨田区のものづくりについては産業の支援をしていくところであります。

ということで、引き続き地域の産業振興に向けた取り組みについてはサポートしていきたいと考えております。これはもう本当にお互いうまく連携することがプラス、両方のプラスになろうかと思っております。

それから2つ目が、これまたとても具体的なお話で、伊勢崎線の鐘ヶ淵駅付近。立体化の検討対象区間の1つに位置付けられているのは、お話のとおりであります。そして交通渋滞踏切事故の解消ということで、あとまちが分断されているというのはまちづくりの中で人の往来に課題かと思っております。

いずれにせよ、地域のまちづくりと併せて進めていく必要がございますので、都としましても、この墨田区さんと住民の皆さんとの今後の取り組み状況も十分勘案しながら、道路と鉄道の立体化の実現に向けて、墨田区によるまちづくりの検討が促進されるように積極的に支援をしております。

それから5丁目都市整備用地のお話はいただかなかったのかしら。これはまた、副知事の方から。

それから8号線でありますけれども、この件につきましては東西線の混雑緩和という観点からも、このテーマとして東京都は取り上げてやってきております。また、臨海地域と

東京スカイツリーといった観光拠点を結ぶアクセスの利便性の向上と、これらについて寄与する重要な路線だという認識であります。

事業主体や費用負担の在り方等の課題で、関係者と今調整を図っているところでございますけれども、引き続きこの延伸ということについて、どこまでかというのはありますけれども、この路線の実現に向けてはしっかり取り組んでいきたいと考えております。

それから5点目、大事な話です。広域避難体制の整備ということで、先だって江東区の方の海拔0メートルと言われる所とか、広い、新しくかさ上げした公園、そこが避難所にもなるという所を実際に国交大臣と一緒に見てまいりました。同じ状況がこの江東5区に当てはまるわけでありまして、だからこその広域避難については昨年の6月に国と共同で首都圏での大規模水害広域避難検討会というのを設けて、そして課題解決に向けての検討をお互いに進めているところであります。もちろん墨田区の皆さんも構成員としてお入りいただいているわけでありまして。

こうしたワーキンググループの中で検討しまして、今年度の末には最終報告をまとめていきます。そして広域避難にかかる自治体、関連の自治体それから関係機関等で、どこまで何をやっていくのかという役割分担も決め、また一方で余りセクショナリズムになってもいけませんから、どうやって連携をつくっていくのかという、これらの在り方のとりまとめをいたしてまいります。

それから排水の対策でありますけれども、国交省と連携しまして大規模水害時の排水対策に関する検討委員会というの、今年度新たに設置してございまして、排水ポンプ車の運用等、排水対策について検討をしていくところであります。

それから消防庁の様々な部品も、水害に対して必要なものというのでポート、それから今申し上げました排水ポンプ等もさらに追加で備えて、備品として備えております。

それからマイタイムライン、これは江東区さんのがここにいちゃだめだとかっていう、すごくショッキングなテーマで出されましたけれども、そうやって区民の皆さんと、特に水害については前もって何日か、何時間か前にはどうなるかっていうことが分かるという傾向がありますので、それらについては教育も兼ねて一緒に、住民の皆さんと一緒に進めていく必要があるかというふうに考えております。

じゃあ、先ほどの、副知事の方から。

○副知事 事前に伺ってございました、墨田5丁目の都市整備用地の件でございまして、防災まちづくりという観点から有効に活用していくということが非常に重要だと思っております。平成30年3月にお示しをいたしました、土地利用計画の考え方を基本といたしまして、いろいろと御相談を重ねてまいりたいと思っております。

また、特に現時点で未利用の都有地につきましては、これ都区共通の財産、共有の財産という観点から、十分に御協議をしながら活用方法を決めてまいりたいと思っております。

それから若干補足させていただきますと、子育て関係の補助金等につきましては、その財源措置について今各区市町村さんの御意見、御要望を伺ったところでございまして、都といたしましては丁寧に御意見を踏まえながら対応してまいりたいと思っております。

よろしく願いいたします。

○行政部長 区長、いかがでしょうか。

○墨田区長 私どもで申し上げた、それぞれに御丁寧に、本当に知事からお答えちょうだいしてありがとうございます。

いずれにしても産業振興も本当に連携というキーワードが大変重要で、我々なんかはフロム墨田ということで、墨田区からっていうところあるんですが、やっぱりその礎というか、連携が大事で、そこから都と墨田区という中で生まれ出てくるものだというふうに捉えていますので、ぜひよろしく願いをしたいというふうに思います。御丁寧に答えいいただきましたんで、これ以上は私は。

○知事 スカイツリーって毎年どれくらい集客。

○墨田区長 今、3000万人。台東区の雷門が3,000万人ですから、大分こう、これで今東武鉄道の高架下が繋がりますので、ここは6,000の移動がこうなってくると、東武地域の大きな観光拠点としてはこうなっていくのかなと。

それから国技館、昨日も実は八角理事長と一緒にカウントダウンボード除幕式なんてやってきましたけれども、両国の駅の周辺も江戸東京博物館、それからうちの北斎美術館、刀剣博物館、非常に今盛り上がりつつありますし、来年は海外からのお客様をしっかりとお迎えをして、江戸、東京、それからその歴史文化、芸術というものを、これきっちりと墨田で味わって帰っていただくというところを、これからつくっていきいたいというふうには思っております。ありがとうございます。

○知事 北斎美術館ってどれくらいですか。

○墨田区長 現状も2年半、もうすぐ3年になりますが、もう70万を超えたお客様が来ております。今やっているのは赤富士って有名なんですけど、青富士というのが出てきました。赤と青が対比されて、今一緒に展示されてるので、非常にお客様の出足も。

○知事 どこから。

○墨田区長 キッコーマンの茂木家の所蔵で、それを借りてきて。

○知事 茂木。

○墨田区長 茂木家ですね。

○知事 しっかり東京全体として、また墨田、連携して世界へ発信していく様々な工夫も。

○墨田区長 体育館にも何度もお見えいただいて、本当にありがとうございます。

○知事 両国国技館はポールマッカートニーので行きました。どうも今日はありがとうございました。

○墨田区長 ありがとうございます。

○行政部長 意見交換終わらせていただきます。ありがとうございました。